

糖尿病・メタボリックシンドローム(予防)

現状(これまでの取組を含む)

1 現状

- ・糖尿病予備群・有病者（40歳から74歳まで）の割合（平成25年から平成27年まで）
男性 予備群 11.0% 有病者 20.3%
女性 予備群 14.7% 有病者 11.8%
- ・メタボリックシンドロームの予備群・該当者（20歳以上）の割合（平成26年度）
予備群 11.6% 該当者 13.6%
- ・区市町村国保の状況（平成27年度）
特定健診受診率 44.9% 特定保健指導実施率 15.7%
メタボリックシンドローム該当者の減少率 23.3%
メタボリックシンドローム予備群の減少率 23.1%

2 これまでの取組状況

- (1) 糖尿病・メタボリックシンドロームに関する普及啓発
 - ・生活習慣改善に向けたウェルネス・チャレンジの実施
 - ・世界糖尿病デーの都庁舎ブルーライトアップ
 - ・予防啓発動画などによる普及啓発
- (2) 区市町村の取組支援
 - ・健康づくり事業推進指導者育成研修による人材育成
 - ・区市町村が行う糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策事業への経費補助（平成28年度 14区市へ補助）
 - ・特定健診・特定保健指導の実施率の高い区市町村国保に調整交付金を交付（平成28年度 43区市町村へ交付）
- (3) 職域の取組支援
 - ・取組企業を支援する職域健康づくり推進事業の実施
 - ・講演会の実施
 - ・糖尿病予防対策のヒントを紹介するパンフレット配布

課題

1 糖尿病・メタボリックシンドロームに関するより効果的な普及啓発の実施

多くの都民がメタボリックシンドロームの該当者、糖尿病の予備群、有病者となっており、深刻な合併症の発症者も一定程度いることなどから、発症・重症化予防に向け、引き続き都民の意識醸成を図っていくことが必要

2 糖尿病の発症・重症化の予防に向けた取組促進が必要

- ・多くの都民が糖尿病の予備群、有病者となっており、深刻な合併症の発症者も一定程度いることなどから、発症・重症化予防に向けた区市町村や事業者等の取組を、引き続き支援することが必要
- ・特定健診・特定保健指導の実施率向上が必要
- ・重症化予防に取り組む区市町村等の数を増やし、医療機関未受診者に対する受診勧奨や、重症化リスクのある対象者への個別指導の取組みを広げていくことが必要

今後の方向性

1 糖尿病・メタボリックシンドロームに関するより効果的な普及啓発の実施

2 糖尿病の発症・重症化の予防に向けた取組促進